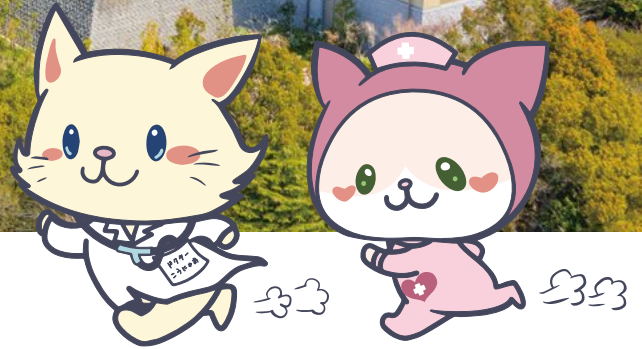


臨床研修医  
募集案内



2024



公益財団法人 甲南会

甲南医療センター



### ● やりがいや喜びを感じる時はどんな時ですか？

患者さんを担当する中で学んだことや上級医の先生から教わった手技や知識が別の患者さんに活かされた時にやりがいや喜びを感じます。救急外来で必要な検査を自ら考えオーダーし、結果を評価していち早く上級医の先生に相談し、患者さんの早期治療や方針決定に貢献できた時は成長を実感でき嬉しい気持ちになります。また、担当患者さんから「ありがとう」と言われた時は今までの努力が報われた気がして感動すると同時にまた頑張ろうと次の活力に繋がっています。今後もこの気持ちを忘れずに日々精進したいと思います。

初期  
臨床研修医2年目  
琉球大学卒  
**玉城 開地**

### ● 実際にこの病院で研修を受け、良かった点について

雰囲気の良い職場環境と多くの同期、後輩がいる点だと思います。研修医は1~2ヶ月毎に研修科が変わるため、その都度新しく学ぶことがあり苦労することも多いですが、中でも上級医の先生含め他職種の方々はみな優しく指導して下さるので楽しく働くことができます。また、研修医室に戻れば多くの同期、後輩と仕事と関係のない些細なことを話したり、医学のことを教えてもらい刺激を受けながらメリハリのある研修生活を過ごしています。当院での研修を少しでも考えている方はぜひ一度見学にお越しください。心よりお待ちしております。



初期  
臨床研修医1年目  
神戸大学卒  
**勝本 花衣**

### ● 臨床研修病院をどのような基準で選びましたか？ この病院を選んだ決め手は何ですか？

初めて病院見学で来た際、職員の皆さんが院内ですれ違う時に挨拶をしていらっしゃる姿や、研修医の先輩方が上級医の先生やコメディカルの方々とコミュニケーションを取りながら積極的に研修されている姿を見て、病院全体の明るく活気のある雰囲気がとても印象に残りました。また、断らない救急で数多くの救急患者を受け入れており、救急のレクチャーも充実していることから、医師の基本となる知識を座学と実践の両面からしっかりと習得できる環境であると感じました。学生時代多くの時間を過ごした東灘の地域拠点病院である当院で医師としてのスタートを切り、地域医療に貢献したいと思い、志望しました。

### ● 研修終了後にはどんな医者になりたいですか？

初期研修の2年では、まず救急対応がしっかりとできるようになりたいと考えています。当院では救急で数多くの救急患者を受け入れています。数をこなすだけでなく、ひとつひとつの症例から多くのことを吸収したいと考えています。問診・身体診察を取り検査をするところから、その結果を受けて病態を自分なりに考察し、その後の方針を上級医の先生方とディスカッションできるようになるのが現時点での目標です。また、医師の基本として患者さんやコメディカルの方々とコミュニケーションが取れるよう、指導医の先生方の姿をしっかりと見て、学ばせていただきたいと思っています。

## ■ 研修プログラム

相談の上、オーダーメイドの研修プログラムの作成が可能です！

基本モデル	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	1年目	内科(臓器別) (必修科目)							外科 (必修科目)	救急科 (必修科目)			
	2年目	産婦人科 (必修科目)	小児科 (必修科目)	地域医療 (必修科目)	精神科 (必修科目)	選択研修							

- ◎必修科目:内科7ヶ月(循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌・総合内科、呼吸器内科、腫瘍・血液内科、脳神経内科、腎臓内科)、外科2ヶ月(消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科)、救急科3ヶ月、産婦人科1ヶ月、小児科1ヶ月、地域医療1ヶ月、精神科1ヶ月
- ◎選択研修:8ヶ月(循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌・総合内科、呼吸器内科、腫瘍・血液内科、脳神経内科、腎臓内科、緩和ケア内科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻いんこう科、眼科、放射線科、麻酔科、産婦人科、小児科、救急科)
- ◆一般外来研修は内科、小児科、選択研修、地域医療(丹波市ミルネ診療所・松前町立松前病院)にて実施
- ◆地域医療:兵庫県立丹波医療センター(丹波市ミルネ診療所)、清水メディカルクリニック(兵庫県明石市)、松前町立松前病院(北海道松前町)
- ◆精神科:医療法人達磨会 東加古川病院(兵庫県加古川市)

## ■ モデルパターン①

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	救急科①② (必修科目)		内科①② [循環器内科] (必修科目)		外科①② (必修科目)		選択 研修①	内科③④ [呼吸器内科] (必修科目)		選択 研修②	内科⑤ [腎臓内科] (必修科目)	内科⑥ [脳神経内科] (必修科目)
2年目	内科⑦ [腫瘍・血液内科] (必修科目)	救急科③ (必修科目)	精神科 (必修科目)	選択研修③~⑤			小児科 (必修科目)	産婦人科 (必修科目)	選択 研修⑥	地域医療 (必修科目)	選択研修⑦⑧	

## ■ モデルパターン②

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科①② [糖尿病・内分泌・総合内科] (必修科目)		外科①② (必修科目)		内科③④ [消化器内科] (必修科目)		救急科① (必修科目)	選択 研修①	救急科② (必修科目)	選択 研修②	内科⑤⑥ [循環器内科] (必修科目)	
2年目	救急科③ (必修科目)	小児科 (必修科目)	地域医療 (必修科目)	精神科 (必修科目)	産婦人科 (必修科目)	内科⑦ [腫瘍・血液内科] (必修科目)	選択研修③~⑧					

### ● やりがいや喜びを感じる時はどんな時ですか？

私にとって、医師としてのやりがいは、治療によって患者さんの健康や生活に貢献できることです。患者さんの症状が軽快し、だんだんと笑顔を見せてくれるようになる様子は、何よりも素晴らしいものです。また、患者さんとのコミュニケーションや信頼関係を築くことも、やりがいのひとつです。患者さんが話しやすい環境を作ったり、納得いくまで説明したりすることで、患者さんとの繋がりを深めることができます。さらに、研修医としては、新しい知識や技術を身につけ、できることが増えていくのはとても楽しいです。現場で学ぶことや、上級医の先生方やコメディカルの方々からのアドバイスや指導を受けることで、成長していくことができます。

### ● 実際にこの病院で研修を受け、良かった点について

当院は救急症例が豊富で、多くの経験を積むことができます。研修医がファーストタッチを行い、自分で方針を決めていく中で、少しずつ着実に成長できていることを実感できます。また、上級医の先生方が優しく、自分たち研修医のことを気にかけて下さっているのが、些細なことでも相談しやすい環境で研修生活を過ごすことができます。コメディカルの方々にも気軽に相談しやすく、チームの一員として医療に励む活力のひとつとなっています。研修医の人数も多く、症例について相談したり、学んだ知識を共有することで、お互いに高めあえることも大きな魅力です。

初期  
臨床研修医2年目  
香川大学卒  
**黒石 真穂**

### ● 臨床研修病院をどのような基準で選びましたか？ この病院を選んだ決め手は何ですか？

私が甲南医療センターを初期研修病院に選んだ理由は2つあります。1つ目は、診療科が豊富に揃っていることです。初期研修医のうちに、志望科に偏らない幅広い症例を経験しておくことで、医師として実力をつけることができると考えました。2つ目は、当院は「24時間365日断らない救急」を理念としており、上級医の先生方の手厚い指導の下、初期研修医が多くの救急症例のファーストタッチを行えることです。問診や手技も積極的にやらせていただけるので、実践で救急対応を身に付けることができます。そして、救急の先生による研修医向けの講義も毎週あるので、楽しく積極的に学ぶことができます。そういった教育体制の充実も魅力です。

### ● 研修終了後にはどんな医者になりたいですか？

まず、どのような状況でも率先して動ける医師になりたいです。特に、当院は救急外来の搬送件数も多く、研修医がファーストタッチを行うので、多くの症例で経験を積むことで、自分で必要な検査や鑑別疾患などを考える力を養い、そして迅速に、かつ丁寧に患者さんに対応できるように実践で研鑽していきたいです。また、患者さんや他職種の方に信頼していただけるような医師になりたいです。上級医の先生方が、診察の際に患者さんと接されている姿や、病棟業務などで他職種の方と円滑なチーム医療を実践されている姿をみて学ばせていただき、自分に還元していきたいです。

初期  
臨床研修医1年目  
福井大学卒  
**鵜飼 史也**

# 甲南医療 センターは どんなところ？

～研修医の声～

2年間をどう過ごすか、最初が肝心。そう思うと、つい肩の力が入ってしまいますが、指導医はもちろん先輩研修医や教育研修センタースタッフもやさしく接してくれるので、少しずつ緊張もほぐれ、病院の雰囲気にも慣れてきます。

1年目 T.Y



初期研修医1年目

仲間と共に  
臨床キャリアの第一歩を  
踏み出します！

がんばります！

学べる環境が揃っています！



初期研修医2年目



学会発表を評価され  
賞がとれました！



東灘消防署にて、  
救急隊員の一員  
として1日実習を  
行いました。

2年目 S.S



優しい先輩の  
サポートのもと  
いろいろな  
手技を学びます。

1年目 k.k



最新の医療機器が充実しています。



耳鼻いんこう科医師による輪状甲状膜穿刺指導の様子



4～6月は毎朝医師・コメディカルによる  
臨床講義があります。



ICLS研修の様子



看護部との  
オリエンテーションの様子



修了証授与式後にみんなで記念撮影をしました。

疑問があれば  
その場で質問し  
解決できる  
環境です。

1年目 k.Y



放射線科部長による現場の具体的な指導の様子



症例発表ではプレゼンテーション力が  
鍛えられます。



オフには  
こんなご馳走も！



北海道の地域医療研修では  
いろいろな経験ができました。

2年目 k.T



職員のワクチン接種も  
担当しています。



症例発表前には  
指導医が  
厳しくも熱心に  
教えてくれます。

2年目 k.S



みなさん、1年間  
ありがとうございました！



毎年3月にある臨床研修修了証授与式では  
院長より修了証が授与されます

※写真撮影のため、一時的にマスクを外しております。

# 充実した研修環境

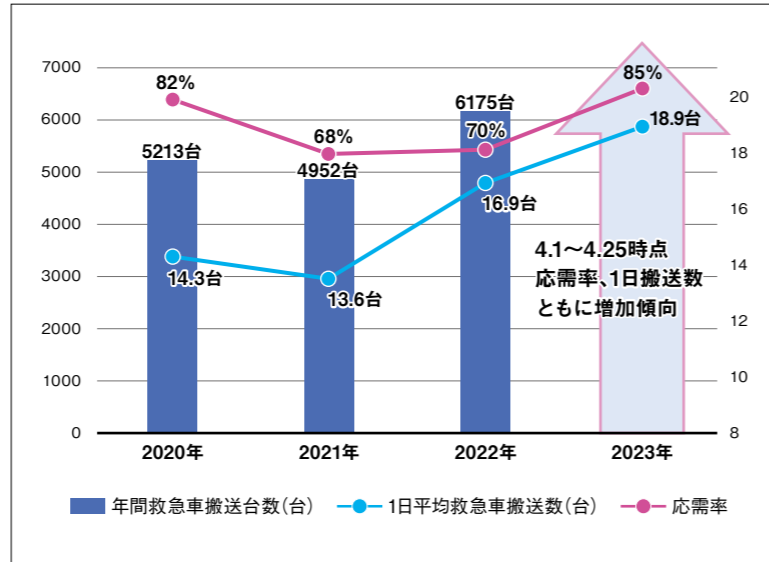
## 「次世代の医療を担う優秀な若手医師」育成のための 研修環境づくりに力を入れています。

### ◎ 24時間365日 積極的に受け入れる救急

神戸市東灘区の中核病院として「24時間365日断らない救急」を理念としています。神戸市東エリアからの搬送を中心に神戸市1、2の搬送数となっており、たくさんの症例を経験しながら臨床力を身に付けることができます。内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科など幅広い内容、軽症～重症までVarietyに富んだ症例を通して臨床力をLevel upします。

救急搬送数・応需率は年々増加しており、各専門診療科のサポートの元、activeなER診療を展開しています。

※COVID19流行下で発熱対応病床数など厳しい状況下でしたが、搬送要請・搬送数共に増加傾向にあり、本年度も各診療科のサポートの元、受け入れ数を増加しています。



救急科 統括部長 高橋 徹也  
救急科 副部長 宮崎 勇輔

### ◎ 臨床講義・救急レクチャー

研修医の教育を充実させるため研修医の意見を取り入れ、臨床講義、救急レクチャーを積極的に行っています。

臨床講義では、各診療科の専門医師より日常臨床に関することを学びます。皆さんが「何を学びたいか」に合わせて、研修医のニーズをくみ取った講義を行っています。

また、毎週開催しているKER-FES (Konan ER-Friday Evening Seminar) では救急・集中治療専門医より、「甲南ERで研修して救急が楽しかった!」と思ってもらえるようにハンズオン中心のレクチャーを開催しています。

ぜひ一緒に甲南ERでLevel upしましょう!

#### ■臨床講義テーマ (※変更の可能性あり)

1	患者サポートセンター	患者サポートセンターについて・業務の内容と活用方法
2	腫瘍・血液内科	輸血療法について
3	腎臓内科	急性腎不全の治療と診断
4	整形外科	救急外来での腰部痛の鑑別診断
5	循環器内科	救急の心エコー
6	感染防止対策室	針刺し防止について
7	医療安全対策室	医師のインシデント報告について
8	糖尿病・内分泌・総合内科	感染症の基礎知識
9	放射線科	CT・造影剤の基本、common diseaseの画像所見
10	循環器内科	血液培養
11	消化器外科	急性腹症～外科医の視点から考える手術適応とその実際～
12	脳神経内科	頭痛患者の見方
13	眼科	眼科救急疾患
14	循環器内科	虚血性心疾患
15	循環器内科	大動脈弁狭窄症のカテーテル治療
16	中央放射線部	放射線部で行う各種検査の進め方
17	糖尿病・内分泌・総合内科	入院患者における糖尿病管理
18	循環器内科	末梢動脈疾患
19	消化器内科	腹痛診療の勘所
20	栄養管理部	栄養管理について
21	呼吸器外科	救急診療における呼吸器・胸部外科疾患
22	循環器内科	静脈血栓症の予防
23	脳神経内科	けいれん重積の初期対応
24	中央検査部	検体検査の注意点
25	病理診断科	病理診断(生検、手術、解剖)に関して
26	乳腺外科	当直対応が必要な乳腺関連疾患
27	薬剤部	薬物相互作用
28	腫瘍・血液内科	Oncologic emergency
29	歯科口腔外科	周術期口腔機能管理について
30	小児科	小児科の救急
31	循環器内科	心停止
32	精神科	せん妄
33	耳鼻いんこう科	救急における咽喉頭感染治療の落とし穴
34	認知症医療センター	日常診療で出会う患者のこころのサポート
35	循環器内科	心不全
36	呼吸器内科	呼吸器疾患の救急対応
37	循環器内科	ERでの循環器疾患
38	循環器内科	心電図の読み方
39	消化器内科	内視鏡診療における抗血栓薬の注意点

#### ■救急レクチャー (KER-FES) 一覧

1話	初期対応 for 内因性 (ERで困らないために!)
2話	初期対応 for 外傷 (ERで動けるようになる!)
3話	とりあえず! FASTで
4話	ER顕微鏡設置記念! 感染症の原則&Gram染色
5話	バイタル診断! やバイタル①
6話	バイタル診断! やバイタル②
7話	Level up! 腹部診察
8話	Expertに学ぶ 腹部エコー by 救急部長
9話	呼吸の見方 ~respiratory tasting~
10話	すぐ身につく! すぐ役立つ! 肺エコー
11~13話	Expertに学ぶ 特別編 熱血! 心電図監 beyond ER

他 ● 症候別の診察&動き方@ER  
● 感染症@ER各論  
● 縫合処置、Airway確保など手技関連  
● エコー達@ER ● 小児救急 等々  
コンテンツは続々入荷中です。

ラーニングピラミッド(アメリカ国立訓練研究所)はご存じでしょうか? 学習定着率は講義形式では5%しか残らず、実演説明で30%、練習75%、他社に教える90%と増えていきます。KER-FESではハンズオン・シミュレーションを中心にER診療に役立つ内容をお届けします!



救急レクチャーの様子

## 総合的な人間力と感性を培う 研修医教育を目指して

院長 具 英成



甲南医療センターは、神戸市東灘区にある地域拠点病院です。前身の甲南病院は1934年に創設され、約90年の歴史と伝統を有します。旧甲南病院の歴史を基に大規模な建築工事を経て2022年3月に、461床、29の診療科を擁する総合病院として完工しました。この間、六甲アイランド甲南病院と再編・統合し、当センターは急性期医療を、六甲アイランド甲南病院は回復期リハビリ、地域包括ケアなどを担当する機能分担を行いました。2022年度には年間約6,000件の救急搬送を受け入れ、市内屈指の研修施設となっています。また2病院の659床を一体的に運用し、地域で完結する診療体制を整えています。これからは最善の医療を実現するには建物や医療機器だけでなく、「心技一体の医療を実践できる総合力のある医療人の育成」を最も重要な目標として邁進する所存です。当センターは、神戸大学と連携し「感性を研ぎ澄ませ、医療の進化に自ら貢献できる志の高い医療人の育成」をかねて、職員一同、全力を傾けます。皆さんと共に働ける日を心待ちにしています。

## 救急医療の最前線で経験を積み 自己研鑽を行う

教育研修センター長 清水 宏紀

当院は神戸市東部地域(約35万人)の救急医療を担っている急性期総合病院です。年間救急車搬入台数は約6,000台で神戸市では2番目に多い病院です。病床は461床でほとんどの診療科がそろっています。2023年度は初期研修医22名(基幹型16名、神戸大学たすきがけコース6名)が当院で研修を行っています。当院では救急患者が多く救急医療を通じて診断・治療、基本的手技を学ぶことができます。また病棟では指導医の下、主治医グループの一員となり5~6名の患者の担当医となります。指導医、各科専門医が多く在籍しており高度な医療を学べます。初期研修医の募集定員は8名ですが出身大学に偏りなく全国から研修医を受け入れています。異なる大学から集まりお互いが刺激し合い切磋琢磨する研修を目指しています。カンファレンス、レクチャーも多く学会、論文発表多数行っています。また年に3回のICLSコースを開催し心停止患者に対する心肺蘇生のトレーニングをすべての研修医に義務付けています。臨床の実力を付けたい、様々な疾患を経験したいと考える人はぜひ当院で研修することを勧めます。



## メリハリのある研修環境で 医師としての素養を身につける

プログラム責任者 下山 学



医師の働き方改革に積極的に取り組み、オンオフのある研修を実現しています。1、2年次合わせて22名の研修医が在籍し、助け合いながら研鑽を積んでいます。研修医室には個々に十分なスペースが確保されていて学習環境が整っています。教育研修センターでは臨床研修以外の研修医生活も含めてサポートしています。不断の救急を行動指針とし内科、外科に限らず幅広い疾患を上級医と一緒に診療することでプライマリケアを修得していきます。地域の基幹病院として多数の専門診療科を有しておりコンディジーズから多領域にわたる疾患まで豊富な症例を経験できます。専門医だけでなく若手スタッフ、専攻医が多数在籍しており日常診療からや専門性の高いことまで様々な疑問をその場で解消できる指導体制、雰囲気です。希望に応じて学会発表などの指導も責任を持って行います。研修プログラムは1年次から選択科研修期間を設けるなど自由度が高く、将来の専攻科や関連する診療科の研修をしっかりと行うことができます。

## 甲南医療センター 病院概要



### 甲南医療センター

〒658-0064 兵庫県神戸市東灘区鴨子ヶ原1-5-16  
TEL:078-851-2161(病院代表)  
<https://kohnan.or.jp/kohnan/>



□病床数:461床

#### ■診療科目

- 糖尿病・内分泌・総合内科 ■循環器内科 ■消化器内科
- 腎臓内科 ■呼吸器内科 ■脳神経内科 ■リウマチ膠原病内科
- 腫瘍・血液内科 ■緩和ケア内科 ■放射線科 ■小児科
- 皮膚科 ■精神科 ■消化器外科 ■乳腺外科
- 心血管外科(休診中) ■呼吸器外科 ■整形外科
- リハビリテーション科 ■脳神経外科 ■眼科 ■耳鼻いんこう科
- 泌尿器科 ■産婦人科 ■形成外科 ■麻酔科 ■歯科口腔外科
- 病理診断科 ■救急科

#### 【病院見学希望フォーム】

[https://kohnan.or.jp/recruit/entryfrom/residents\\_request](https://kohnan.or.jp/recruit/entryfrom/residents_request)



### 【初期臨床研修医募集要項】 <https://kohnan.or.jp/recruit/initial-resident/recruitment>

- 雇用形態 常勤(2024年4月1日 採用予定)
- 勤務地 甲南医療センター
- 募集人数 8名
- 給与 基本給(年俸制/賞与・住宅手当・みなし時間外勤務年俸(月30時間分)を含む)  
4,200,000円/年(1年次)  
4,700,000円/年(2年次)  
副直手当(患者対応時間により変動あり)  
約23,500円/1回(1年次)  
約26,500円/1回(2年次)  
交通費:支給(月額50,000円を上限とし支給)  
※当直(副直):4~5回/月  
※宿舎:なし(当院規定の不動産会社紹介あり)
- 勤務時間 8:30~17:15(60分休憩)
- 休日・休暇 ●有給休暇:10日(1年次)、14日(2年次)  
●その他:結婚休暇・忌引休暇・配偶者出産休暇・その他法律に定められた休暇等  
●休日:土曜日・日曜日・国民の祝日・国民の休日  
●年末年始(12月29日~1月3日)
- 厚生 社会保険:全国健康保険協会管掌健康保険適用  
年金保険:厚生年金保険  
労災保険:適用  
雇用保険:適用

- 健康 健康診断2回/年  
インフルエンザ予防接種等
- 医師賠償責任保険 団体保険加入済 ※個人加入推奨
- 学会参加 当院の規定により参加可
- 試験日 2023年8月5日(土)、2023年8月19日(土)
- 選考方法 面接 ※面接試験には十分な新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで実施します。

- 応募書類 ①履歴書(当院規定のもの)  
②小論文(様式は任意)  
詳細についてはホームページにて発表します。  
③卒業(見込み)証明書  
④CBT個人成績表・成績証明書  
⑤健康診断書(大学実施の健康診断でも可能)

- 応募期間 **2023年6月20日(火)~2023年7月24日(月)〈必着〉**
- 応募方法 封筒の表に「初期臨床研修医採用試験応募書類」と朱書し下記送付先に郵送してください。  
【送付先】〒658-0064  
兵庫県神戸市東灘区鴨子ヶ原1丁目5-16  
甲南医療センター 教育研修センター(高橋・河合 宛て)
- 留意事項 応募にあたってはマッチングに参加登録してください。

◎最新情報はホームページをご覧ください。



### 【応募・お問い合わせ先】

公益財団法人甲南会 甲南医療センター 教育研修センター 高橋・河合

TEL:078-851-2161(代表) ※平日9:00~17:00にご連絡ください。 Mail:kmc.rinshokensyu@kohnan.or.jp

初期臨床研修医  
募集動画が  
完成しました!



動画はQRコードから  
ご覧いただけます。  
是非ご覧ください!

